

(案)

平成9年度原子力委員会による海外原子力関係者の招へいについて

平成9年4月18日
原子力委員会

記

1. 招へい者

- (1) フランス原子力庁 (CEA) ・原子炉局長

Mr. Bertrand Barre (バートランド バレ)

- (2) イギリス原子力公社 (UKAEA) ・総裁

Dr. Derek Pooley (デレク プーリ)

- (3) ドイツカールスルーエ研究所 (FZK) ・科学技術評議会議長

・中性子物理・原子炉工学研究所長

ドイツ原子炉安全諮問委員会委員

Prof. Dr. Gunther Kessler (ギュンター ケスラー)

2. 招へい目的

原子力委員会「高速増殖炉懇談会」では、今後の審議・検討に資するために、国際的観点からも意見聴取をすることとしている。そのため、高速増殖炉開発先進国である英、仏、独の高速増殖炉開発等を担当している3氏を招へいし、各国の高速増殖炉開発のこれまでの位置付け・経験、現状、今後の見通し等について御講演いただくとともに意見交換・情報交換を行う。

3. 招へい期間

バートランド バレ氏

平成9年5月7日(水)～5月8日(木)

デレク プーリ氏

平成9年5月7日(水)～5月9日(金)

ギュンター ケスラー

平成9年5月6日(火)～5月9日(金)